

2023.10.15.イエスが私のいのち人生になる時

第一ヨハネ 5章 18節から 21節

JD ファラグ牧師

主よ、あなたの恵みと、慈しみをありがとうございます。ー 拍手喝采 ー

一緒に祈りませんか？ あなたの恵みと慈しみは決して尽きる事はありません。主よ、感謝します。「聖書預言・アップデート」をあなたに感謝します。主よ、この教会の指導者たちをあなたに感謝します。ここで、この教えの下に座れることは、なんとという祝福で、特権でしょうか。主よ、神の御言葉、あなたの御言葉を教えるこの教会を感謝します。主よ、あなたの御言葉はいのちです。ですから主よ、私たちに話してください。今朝、「第一ヨハネの手紙」の学びで。主よ、御言葉を共に与るこの時間を大変感謝します。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。オンラインの皆さんも参加くださり大変嬉しいです。始める前にですけど、進行中の「マウイ島ミッション支援」の簡潔な最新情報をお伝えします。今日は実は嘆願です。つまり、何よりもまず、ラハイナの人々のために祈り続けてほしいという嘆願です。マウイ島で起きたことは、常にありがちで、日を追うごとに忘れ去られていくように見えるからです。しかし、本当に悲しいのは、マウイにはまだ本当に苦しんでいる人たちがいて、ある意味、起きた直後よりも、今は更にひどくさえあります。起こったことの現実と激しさが、2カ月ほど経った今、定着し始めているからです。そのようなことが起こった直後には、ショックや否定があり、ある種の過程を経ることになります。大変 非現実的です。時間が経つにつれて、そのことを理解できるようになり、気づき始め、「わお、これが本当に起こったことだったのか？」と。その状況で、毎日目覚めるたびに、そのことを思い知らされます。それがラハイナの人々です。スティーブ・サントス牧師が、私に話してくれたのは、牧師として私たちは、人々を短期宣教旅行で宣教地に連れて行きますが、今、彼は毎日、来る日も来る日も、宣教地で暮らしています。さらに、ラハイナに住む人々が文字通り、すべてを失い絶望し、その多くが島に留まるかどうかの深刻な決断を迫られています。今でさえ、ある人々はすでに去り、決して戻ることはありません。私たちは、まだたくさんおられる最も必要な人々への財政的支援のため、長期的に取り組んでいることをご理解ください。ラハイナのカルバリーチャペル・ウエスト・サイドのスティーブ・サントス牧師に寄り添い私たちは、これまでも、これからも間違いなく支援を続けていきます。私たちは教会として、この想像を絶する悲しみと苦しみの時、マウイの兄弟姉妹を助けるため、できる限りのことをしています。再度、嘆願は実に2つあります。

1つ目は、何よりもまず祈ること。マウイ島の人々のためにお祈りください。今日のアップデートは、イスラエルに関する重要な預言的展開についてでした。同じ嘆願をしないと、大失態となります。イスラエルのためにお祈りください。ユダヤ人のためにお祈りください。アラブ人のためにもお祈りください。失われた人々のために祈り、手を差し伸べる重要性を強調しすぎることはないでしょう。悲しいことに、それが失われたものだからです。先週、話しましたが、特にこんにち私たちは急速に進むプロパガンダの報道サイクルと共に生活しています。私がそう言うのには理由があります。すべてはプロパガンダであり、報道サイクルの周期で、世界は動いています。しかし、私たちはそうではない。パウロがコリントの教会に語った通り、体の一部が痛むと、体全体がそれを感じ、痛みます。(1 コリント 12:26 参照)

私は自分の体の一部が痛むと、私の体全体が痛みを感じます。地元、この島に住む私たちは、マウイの兄弟姉妹の痛みを感じます。また、アラブ人として、中東、特にイスラエルにいる私の兄弟、アラブ人の兄

弟についての意味です。あまり話は逸れたくありません。でもこの件を「聖書預言・アップデート」で少し説明しましたが、簡潔に言うと、このようなプロパガンダや報道サイクルによる死者数の報道は、単なる数字ではありません。魂です。彼らは、イエスがその為に死なれた人々です。母親、父親、息子、娘、兄弟、姉妹、叔母、叔父のため、多くの人々がまだ深く悲しんでいます。ある意味、よくご存知の方もおられるでしょうけど、悲しみの感じ方は人それぞれです。パウロがテサロニケ人に語ったように、

「あなたがたが、望みのない他の人々のように悲しまないためです。」(1 テサロニケ 4:13)

私たちは世と同じ方法で悲しみません。私たちには希望があるからです。しかし、やはり私たちは悲しむし、悲しむのに慣れている人たちは悲しむプロセスを知っていて、それは過程であり、時間がかかります。しかし、人々は悲しみ、まだ起こった事を引きずっています。興味深いのは、そう、マウイであろうと、イスラエルであろうと、そのどこであっても、物事がかなり正気ではなくなっていることに同意しますか？ なぜ今、彼らが正気でなくなっているかわかりますね？ イエスが来臨されるからです。因みに、さらに悪化します。これってルンルンじゃないですか？ — (笑) —

しかし、悪化します。あのラッパが鳴る前に、そうなると言われています。私がただこの嘆願をしたい理由は、ユダヤ人であろうと、アラブ人であろうと、地元民であろうと、白人であろうと、言ってもいいですね。言ってしまいました。遅すぎますね。彼らは同じ人々なのです。これは大宣教命令ではありませんか？ 私たちは、できるだけ多くの人々にイエスを伝え、できるだけ早く人々をイエスのもとに導かねばなりません。まだ時間があるうちに。再度、お願いします。あなたへの嘆願です。私自身が気をつけねばなりません。これに私自身も含みます。しかし、特にイスラエルでイスラエルに対して起きていることに関して、非常に注意深くあらねばならないと思います。とても簡単に、私たちは皆、ハマスの邪悪となると、この性質、傾向があります。邪悪ですか？ 間違いなく邪悪です。しかし、それらはアラブ人で悪魔的に欺かれています。彼らが行った邪悪は、徹頭徹尾、悪魔的です。しかし、彼らはそれでもやはりイエスがそのために死なれた人々です。ですから、気をつけましょう。そう、私たちはイスラエルを支持します。しかし、結局のところ、私たちはイエスと共に立ち、人々をイエスのもとに導くのです。それが大宣教命令です。これが終わりの時にあつての結論です。これが出てくれば、細心の注意を払いましょう。彼らを潰せ、彼らを殺せ 彼らは動物だ彼らは動物ではありません。彼らは人々です。これだけは言うておきます。第一礼拝の「聖書預言・アップデート」で言及しました。もう私たちの学びに入りますから。しかし、私がこれを言う時、主は私の心をご存知です。携挙が起きたとき、私たちは皆ショックを受けると思います。どういう意味ですか？ 思うに、私自身も含み、誰が携挙されるのか分かれると衝撃を受けるでしょう。もし、そのことに問題があるのなら、あなたには問題があつて、あなたの問題は、「彼ら」にはありません。「彼ら」が誰であろうと。あなたの問題はイエスにあります。理由は、それは、あなたには考えられないこと、邪悪なテロリスト、テロリスト・ハマスのような誰かが、それでもやはり、救われる可能性があるからです。ここでおいの方がいいですね。私の言いたいことがわかりますね？ OK。ちょっとさせてください。「主よ、いいですか？」はい。本当に。

名前を言いましょう。名前を言えば、すぐにわかります。ジェフリー・ダーマー。ご存知ですか？ ジェフリー・ダーマー（連続殺人犯）に私たちは栄光で会うでしょう。あなたに問題ありますか？ 彼が犯した言いようのない悪行の後、、繰り返し言うのも不適切で、それだけでも、牧師が説教壇で話すことではありません。つまり、彼がしたことは、徹頭徹尾、あらゆる意味で、悪魔的です。しかし、彼が投獄されていたとき、ある人が彼にイエスを伝えました。皆さん、ご存じないですか？ 彼はイエス・キリストに

人生を捧げ、新生しました。その後、刑務所で殺害されました。ジェフリー・ダーマーがそこ（天）に行くのを納得しますか？ ハマス関係の誰かがそこ（天）にいるとわかったら、あなたは大丈夫ですか？ 彼らは証人保護下に置かねばならないかもしれません。－（笑）－ いえ、逸れすぎましたね。でも、ああ、重くなってきたから、和らげたかったのです。

ふ～う、、、「第一ヨハネの手紙5章」、ちなみに、これは叱責ではありません。私は愛を持って言いました。いいですか？ ただ、アラブ人、ユダヤ人、この人々のために祈ってください。OK。

ユダヤ人にもイエスが必要だからですよ。おお、はい。ええ、私は問題です。大変なことになりました。

「第一ヨハネの手紙5章」、主の御心なら、私たちは今日、「第一ヨハネの手紙」を終わります。今日の箇所は18節から21節までです。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら座ったままでも結構です。で、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。使徒ヨハネは、手紙の最後を次のようにまとめます。ヨハネは聖霊の導きで、書き続け、18節でこう言います。

－ 1ヨハネ 5：18 －

神から生まれた者はみな罪を犯さないこと、神から生まれた方がその人を守っておられ、悪い者はその人に触れることができないことを、私たちは知っています。

－ 1ヨハネ 5：19 －

私たちは神に属しています（神の子です）が、世全体は悪い者の支配下にあることを、私たちは知っています。

－ 1ヨハネ 5：20 －

また、神の御子が来て、真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことも、知っています。私たちは真実な方のうちに、その御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。

－ 1ヨハネ 5：21 －

子どもたち、偶像から自分を守りなさい。アーメン。

おしまい。じゃあね。はい。この手紙の最後について話す必要があるのは、理由があるからです。しかし、まずは祈り、神に私たちの時間を祝福していただきましょう。よろしければ、こゝと一緒に祈りましょう。お父様、ありがとうございます。イエスよ、ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。主よ、この手紙の最後のこの箇所に、全てが詰まっています。今私が読み、皆がついてきている間でさえ、この箇所が私たちの聖書にある理由は、大変明確ではっきりしています。主よ、私たちがここにいるのは、その理由を知り、あなたが私たちの人生に語りかけてくださる必要があるからです。このような節がある理由は、私たちの聖書のこの手紙の中に、力強く記されているからです。主よ、私たちは今、御言葉によって共に過ごす時間をあなたに捧げます。私たちをあなたに委ね、今日の私たちの時間の中で、あなたにしかおできにならないことをしてくださいますように。と同時に、私たちがこの美しい教会を後にする時、この教会に来た時とは全く違うようになるのは、それは紛れもなくあなたがなさる事です。ですから、主よ、語ってくださいますか？ 私たちは聞く耳を持ちます。私たちは大変飢え渴いています。あなたに私たちの飢えと渴きを満たしていただく必要があります。主よ、そうしてくださいますか？ 主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。どうもありがとうございます。今日、私が話したいのは、私たちのいのち/人生の全て

がイエスである時、新生クリスチャンとして私たちのいのち/人生がどのようになり得るかについてです。つまり、やはり、イエスは私たちのいのちです。主（わたし）が、道であり、真理であり、いのちなのです。（ヨハネ14：6参照）

主は単なるいのちではありません。主は私たちのいのち/人生であります。主は、私のいのち/人生のすべてです。イエスよ。私の母国語のアラビア語に美しい格言があります。矛盾しているのはわかります。アラビア語はその性質上、あまり美しい言語ではないからです。大変粗い言語です。アラビア語で、大変愛にあふれたことを言うと、アラビア語を知らない人が聞くと、怒られていると思います。喉を鳴らして唾を吐くからで、すべての言葉に（特徴的音）があるからです。つまり、アラビア語の挨拶でさえマルハバ！です。私に何と言いました？ つまり、ただ、粗いんです。粗っぽい言語です。私は幼い頃、母に尋ねたことを覚えています。

「どうしてパパとママはいつも言い争って怒っているの？」母は言いました。「おお、ハビビ、これが私たちの話し方よ。」私はこんな感じで、「本当？」なんて粗い言語でしょう。父は外国語の教師でした。父は実に6カ国語を知っていました。スペイン語、フランス語、ドイツ語はもちろん、アラビア語、英語も知っていました。6つ目は忘れしました。ヘブライ語だったかもしれません。アラビア語、アラム語、ヘブライ語は非常に似ているからです。しかし、父は高校でフランス語を教えていました。実際、私は教師の子どもで、父の授業を受けねばならず、父をファラグ先生と呼ばねばなりませんでした。お分かりのように、私は今に至るまで大変苦い思いをしています。でも、これで話の向かう先があります。父は実際、フランス語とスペイン語を教えていました。ただ覚えているのは.....いや、何も覚えていません。もしかすると、ただヴレヴとかメルシとか、でも、フランス語はなんて、、、ヴレヴ オヴァのような。ああ〜！ という感じでしょう。－（笑）－ 私は気づいていないけど、きっとあなたは面と向かって私を呪ったかも。でも、フランス語は、大変滑らかです。こんなような感じです。「わお、ありがとう。」でも、私が同じことをアラビア語であなたに言えば、こんな感じです。「マルハバ・キイフ・ハラック！」オオ〜！ ところで、私が今何を言ったかわかりますか？ 挨拶です。「ご機嫌いかが？」ええ、いえ、本当です。－（笑）－

「OK。牧師さん、何が言いたいんですか？ ポイントを言って下さいますか？」はい、言えます。言いますよ。アラビア語の美しい格言。それはこうです。： ヤ・ハヤティ、ヤ・ロヒ、ヤ・ハビビ、ヤ・アイニ これはある種の挨拶で、それは大きな愛情と情熱をもって言われ、語られる深遠で奥深い愛の文脈です。私がアラビア語で話したことは：私のいのち、私の愛、私のすべて、私の道、私の目、私の存在。そのように、信じるか信じないかは別として、再度、矛盾しているのは承知ですが、アラブ人は実際、大変情熱的でロマンチックで愛情深い人たちです。ただ、残念ながら言語には表れません。しかし、これはアラブ人が他のアラブ人に言うことなのです。それはまた、大きな深い愛情とともに語られます。あなたは私のいのち。あなたは私のいのち。あなたは私の道。あなたは私のいのちの全て。これがまさに使徒ヨハネが書いていることです。ヨハネは、イエスにおいての私たちのいのち/人生、イエス故の私たちのいのち/人生について書いています。私は「イエスが私のいのち/人生である時」というタイトルを選びました。私も含め私たち皆が、人生の全ての層を剥がし（人生の本質を探究し）、私たちのいのち/人生であられるイエスに立ち返ることを望むからです。私たちが人生を歩むとき、あらゆる心配事や生活上の問題があり、それが私たちにまとりつき、私たちの人生の一部になります。イエスが説かれたたとえ話のように、それらがイエスを邪魔にし、イエスを押し出します。このことは、私たちの理解を深める上で重要な意味を持

ちます。しかし、それはほとんどの競い合う原動力のようで、そう、イエスは私のいのち/人生で、イエスは特定のいのちです。でも、私の人生には、私の注意を引こうとするものがたくさんあります。それを自分が剥がして、外して、脇に置いて、ただイエスに立ち返る時だけ、それが、私の人生が本当に変わる時です。イエスが私のいのち/人生である時が。私のいのち/人生の中だけでなく、主は、私のいのち/人生におられ、私は、主のうちにいます。それについてを話します。

ただイエスは、私の人生の一部や主は私の人生で最も大切なお方で、という話ではありません。

そうではなく、イエスは、あなたのいのち/人生「になる」について話しています。

イエスがあなたのいのち/人生になる。主は私のいのち/人生のすべてです。主以外に誰がいますか？ イエスだけです。

主は仰いました。

わたしが来たのは、あなた（羊たち）がいのちを得るため、それも豊かに得るためです。

（ヨハネ10：10後半参照）

どうか、どうか、どうか、、、私はいつも非難されますが、そんな人たちの言うことを信用したくもない。

そのうちのいくつかは、AIアルゴリズムだと思います。とにかく、私は最近、ある教えであえて、

「大きな神に大きな祈りを捧げること」について話しました。「あなたの神は大変大きいのに、非常に小さく祈るのはやめてください。」と。もちろん、やって来ました。来るのはわかっていました。いつもそうです。「あなたは繁栄神学の説教者みたいになってきましたね。」－（笑）－

もちろん、私は敬虔で謙虚な牧師ですからね。－（笑）－

実は、それは本当ではなく、私の聖化は、自分から逃げ出したがり、「マジ？ あなたが私に言いたいの...実は、これで話の先がありますからね。信じ難いでしょうけど...あなたが言いたいの、「信仰の御言葉運動」「繁栄神学」の「名を上げ主張し、べらべら話し、掴み取れ！」の人たちだと非難されることなく、私が大きな神へ、大きな信仰について語ってはいけないのですか？ 悪かったね。」

それは聖書が教えていることですよ。何回、、、私は怒っていません。(笑) 怒っていませんか？ 確かにそう見えますよ。何回福音書で、読んだことでしょう。イエスが、、、その御声に軽蔑や嫌悪はなく、ただ悲しみと哀れみさえ感じるように、弟子たちに仰いました。

なぜ疑うのですか？ 信仰の薄い者よ。(マタイ14：31参照) 信仰の薄い者たち。(マタイ8：26参照)

「あなたの神は大変大きいのに、なぜあなたの信仰はそんなに小さいのですか？ なぜわたしに何でも求めないのですか？ ただ、わたしに求めなさい。」「いいえ、それは、、、はい、大き過ぎます。」「本当ですか？わたしに大き過ぎる？」「はい、でも、難し過ぎます。」「おお、本当に？ わたしに難し過ぎると。」「いえ、それは不可能です。」「おお、興味深い。わたしは不可能をする神です実際、わたしはあなたに不可能にしたので、わたしには可能です。あなたにとってまだ可能なら、わたしにとっては不可能なのだから。それはあなたにまだ可能で、、、」

あまりうまく伝わっていませんね。わかったら、そう言ってくださいね？「再度、牧師さん、ポイントは何かですか？」私のポイントはこうです。：「イエスが私のいのち/人生になる時」と私が言う時、イエスは、私たちにいのちと、さらに豊かないのちを与えるために来られたとさえ言われました。お願いですから、私がイエスが使われた言葉「豊かに」を使う時、「繁栄神学」を語っていると非難しないでほしいのです。主は、あなたが豊かで、完全で、純粋で、充実した、喜びに満ちた人生を送ることを望んでおられ

ます。主があなたのいのち/人生だからです。お金、富、財産とは何の関係もありません。財産の所有は悪いことじゃありません。財産があなたを所有するとき悪いのです。財産を持つとき、その財産があなたを所有すると、

二人の主人に（神と富とに）仕えることはできないからです。（マタイ 6:24 参照）

どちらか一方です。（二人の主人に仕える事は）不可能なのです。イエスが私のいのち/人生になり、私のいのち/人生になって欲しいと私が話す時、聞いてください。主は私たちに多くの投資をされましたね？主は私たちを買い戻されました。私たちは自分自身のものではなく、代価を払って買い戻されました。主は、私たちの永遠のいのちを購入し、贈り物として与えてくださいました。主は、その代価を全額支払い、私たちに与えてくださいました。

で、何ですか？ 私たちはこのいのちを活用していません。イエスこそが私のいのちであり、私にいのちを与えてくださいます。もちろん、永遠のいのちですよ。お楽しみはこれから。（直訳：最高のものはこの先にある）もっともっと良いものが、この先にある。しかし、今はどうですか？ 私の永遠のいのちは、私のいのちであられるイエスに人生を捧げた日から始まったのではないですか？ 豊かで満たされた私の人生としてイエスと共にあるいのち/人生を持ってないのはなぜ？ 人生の半分ではなく。これは神聖についてのことで、私たちは「神聖」という言葉について、誤認識や概念を持っています。実際、この言葉を口にただけで、「おお、あなたは大変純粋で神聖だ！」（軽蔑を込めて言う）

おお、それ聞いたことがありますね？ まるでそれが悪いことのように。いいえ、純粋さは、純粋に生きることの清らかさ。神の御前に純粋であり、神の御前にまっすぐであること。それがいのち/人生です。それが生きるということですよ。しかし、神聖についてはどうですか？

「あなたがたは聖なる者でなければならない。（わたし）神が聖だからである。」（1ペテロ1：16）

神聖についての言及を説教壇から聞くのは難しいでしょう。なぜかわかります。その理由のひとつは、私たちが神聖とは何かを理解していないからです。私たちは神聖とは何かを誤解しています。

私たちが理解する神聖とはこうです： 「あなたがたが聖なる者でなければ、わたしはあなたを打ち、懲らしめ、罰し、裁く！ 聖なる者であるべきだ！」

「おお、わかりました。私は聖なる者になります。」違います。愛に満ちた天の御父が仰います。

「わたしはあなたをととても愛している。あなたの（聖なる）いのちを4分の3や、3分の1にはしたくない。わたしはあなたの（聖なる）いのちを全て/満たし、聖なるものになりたい。わたしはあなたが満たされ、あなたを聖なる者にしたい。全て(whole/ホール・丸ごと)で、半分ではありません。わたしが来たのは、あなたがたにいのちを、より充実した豊かないのち/人生を与えるためだからです。全て/満たされたいのちを。」

それがヨハネの言っていることです。(溜息) 最善を尽くします。これら5つを見つけました。それを見ていきます。しかし、イエスが私のいのち/人生になるとき、私の人生はこのようになります。同じことを別の言い方で言わせてください。5つのことを見ていきますが、言わば、特徴的なものを挙げます。

私の人生が特徴づけられるのは、「もしも、でっかいもしも、イエスが私の人生のすべてなら。」

これらのひとつひとつが、さらにはこれら以上のものがあり、これらの多くと共に、丸ごと、聖なる、豊かないのち/人生だと特徴づくのは、「イエスが私のいのち/人生だから」です。ヤ ハヤティ（アラビア語）

1つ目、18節の前半：「私は罪から解放されている。」

これには少し説明が必要です。理由は、一読して、、、と、ところで、ヨハネは3章6節で同じことを繰り返していますが、一読すると、神から生まれた者は罪を犯し続けたい、というように聞こえます。おっお、、、私は新生したけれど、まだ罪を犯します。ヨハネは、新生したら罪を犯さなくなると言っていますか？違います。それはヨハネが言っていることじゃありません。決してそうじゃありません。実際、ヨハネは聖霊に導かれ、はっきりと明確に明言します。「もし誰かがこう言うのなら、」これは聖霊の導きを受けた一字一句そのままです。「罪を犯さないと言う人がいたら、その人は嘘つきです。」

(1ヨハネ1：8-10参照)

ヨハネはそんな風に言いました。ヨハネがそう言ったのを知っていますから。—(笑)—あなたは嘘つきです。OK。ちょっと待って。これで私はさらに混乱しました。OK。ですから、、、

ヨハネは、私が罪のない人生になるとは言っていないが、しかし同時に、神の御霊によって新生したなら、罪を犯し続けることはないと言っています。はい、ヨハネが言っていることは、「あなたは、罪の生活を続けたい。」今、あなたはイエスのうちにおり、「罪から解放されている。」からです。

今、あなたはイエスのうちにおり、「罪から解放されている。」からです。イエスが私たちの人生から罪を取り去り、新しいいのちを与えられたという意味で、罪の生活からあなたを解放してくださいました。イエスが私たちの人生から罪を取り去り、新しいいのちを与えられたという意味で、罪の生活からあなたを解放してくださいました。「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(IIコリント5：17後半)

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。」(IIコリント5：17前半)

主は私たちに新しいいのち/人生を与えてくださいます。これを理解する最善の方法は、再度、これは次に見ていく土台ですが、しかし、それを見てこう言います。：私たちが罪を犯さなくなるという意味ではなく、罪を犯すことが少なくなる、という意味です。どういう仕組みですか？あなたがキリストのうちにいるとき、こういう罪の示しが生まれます。非難ではなく、私が罪を犯したという聖霊からの罪の示しです。聞いてください。上手く言えると良いのですが。主よ、助けてください。私は罪を犯しているから罪びとではありません。私が罪を犯すのは、私が罪びとだからです。言葉遊びではありません。私たちは皆、生まれながらにして罪びとです。私たちは皆、罪を犯しました。ですから、私たちは罪びとだから、それが私たちが罪を犯す理由です。それ.....うまく伝わっていますか？それが私のベストなので、どうか伝わっていますように。私たちは、この墮落した肉体、この幕屋、この地上の肉体において、決して罪がないのではありません。私たちの罪がなくなるのは、生き残っている私たちが、またたく間の携挙によって栄光の体を与えられるときだけです。罪を犯すことが少なくなる、と私が言うのは、私たちには聖霊が内住され、私たちを力づけられ、もはや罪の生活様式を送ることも、罪を欲することもないからです。

「はかない罪の楽しみにふけるよりも」(ヘブル11：25)

「終わりには苦よもぎのように苦くなり」(箴言5：4)

罪はそれ自体が報いです。それが快樂でなければ誘惑になりません。罪によって私たちを誘惑するのが、サタンの成功の方法です。いつもヨセフのことを思い出します。えっと、、、ごめんなさい。これは追加料金なしですからね。でも、私はいつもヨセフについて考えます。あれは完全に誘惑でしたね。上司の妻、ポティファルの妻。聖書に詳しく書かれているのは、彼女は、基本的に毎日、ヨセフを口説き、誘惑していました。「一緒に寝ましょう。」「一緒に寝ましょう。」で、これについて考えます。ヨセフは、故郷を遠く離れた若者です。どの記述でも、ヨセフはハンサムで賢い青年で、それがポティファルの家の責任者

になった理由です。そう、これは誘惑です。誘惑でなければなりませんでした。彼女はまちがいなく、、、ここで気をつけたいです。驚くほど、息をのむほど、魅惑的に美しかった。彼女がそうでなければ、ここで誘惑はありません。「一緒に寝ましょう。」だって？ 上着を返してくれますか。

マジ？ — (笑) — 言い換えれば、これは罪への誘惑でした。しかし、ヨセフの反応はどうだったかわかりますか？「私はできません。私はしたくありません。この家のすべてを私に託してくれたあなたのご主人、私の雇い主にそんなことはできません。」

さらに重要なことは、「私は神に対してそんなことはできません。私は神に対して罪を犯すことはできません。」彼は罪を愛する以上に神を愛しました。パウロがテモテに書き送った、終わりの日を示す文章はどうでしょう。

人々は神を愛するよりも快楽を愛する者になる。(II テモテ 3 : 4 参照)

それが誘惑に打ち勝つ秘訣だとご存じでしたか？ ところで、誘惑されることは罪ではありません。イエスは誘惑されましたが、決して罪を犯されませんでした。私たちがその罪によって誘惑され、引きずられる時、その罪によって誘惑されて罪を犯します。それについても話しましょう。しかし、ヨセフは神を愛していました。それが誘惑に打ち勝つ秘訣です。神への愛が、罪への愛に勝ること。勝利するために、

「私たちは圧倒的な勝利者です。」(ローマ 8:37)

罪深い誘惑や情熱よりも、神への情熱の方が大きい。ヨセフにはそれがありました。これがヨハネの言っていることです。あなたは自分のいのち、人生のすべてであるイエスを大変愛しています。かつてあなたを支配し、制御し、征服していた罪から解放されました。ちょっと先走りすぎました。あなたに害を与えていた罪から。それが2つ目、18節後半です。これが興味深いのは、ヨハネがここで書くことは、神から生まれた者、神の御霊によって生まれた者は、神から生まれたイエスによって守られています。私が支離滅裂にしてしまいましたが、長い日で、長い週でしたから。神から生まれたイエスは、神の御霊によって新生した私たちを悪魔から守り、悪魔は私たちに害を加えません。興味深いのはここからです。新約聖書のギリシャ語原語で「害」は、敵は、もはや私たちに取り付くことも、しがみつくことも、害を加えることもできないという考え方が伴います。新約聖書のギリシャ語原語で「害」は、敵は、もはや私たちに取り付くことも、しがみつくことも、害を加えることもできないという考え方が伴います。もしも私がキリストのうちにいるなら、敵がもたらす危険、害、脅威から守られる。もし、イエスが私のいのち/人生なら、私は私のいのち/人生において安全に守られています。

主は私の周りを囲む盾。(詩篇3篇3節参照)

しかし、そう再度これが問題なのは、私たちが、敵に協力したいからです。私が言っていることがわかりますか？ 彼はすでに敗北した敵です。敵が私たちに勝利したり、危害を加えたりできるのは、私たちが敵に協力し、それを許したときだけです。しかし、イエスが私たちのいのち/人生であるとき、それがほとんど初期設定で、悪魔は私たちに触れることができません。私たちは主のものです。ところで、これについてはよく話しますが、ここで学んでいる文脈で、再度、言及するのが適切でしょう。しかし、神が許されない限り、悪魔はあなたに何もできません。今、皆さんの何人かが驚いているのは、、、

「ちょっと待って。神は、悪魔が私に何かをする前にそうすることを許可されねばならないの？ 神は敵がそうするのを許しているようだけど.....。なぜ神はそうなさるの？」2つ理由があります。

その1: 神のご栄光のため。その2: 私たちの益のため。

それについてはペテロに聞いてください。あの記述を覚えていますか？ すみませんが、ユーモアを感

じます。イエスはペテロを脇に呼んで仰いました。

「ペテロよ、話があります。サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願いました。」(ルカ 22：31 参照) 私がペテロならこんな風に、「主よ、サタンにダメだと仰いましたよね?」「いいえ、実際、わたしは許可しました。サタンに許可を与えました。」「何ですって?なぜそんなことを?」

「最終的に、あなたの益のため、わたしの栄光のためだからです。」

ヨブに聞いてみてください。これについてすでに話しましたが、再度、話す価値があります。私たちは十分に聞けないと思います。私は聞けないですから。私自身のために、自分に対して話すべきかもしれません。それもいいです。皆さん、ようこそ。でも、これは私のためです。つまり、サタンは何もできませんでした。ヨブの髪1本さえ触れられません。「よし、お前に任せる。」と神が仰らない限り。

神は、サタンに私の髪に触れるのを許可しすぎたのだと思います。それはまた別の機会の別の題材です。留意ください。ヨブ記の1章で、初っ端からサタンが登場します。神はご存知でした。ヨブが最終的に神を呪うことは決してないと分かっておられなければ、サタンがヨブにすることを決してお許しにならなかったはずですが、しかし、ヨブはそれを知りません。しかし、神はご存知でした。ヨブが神を呪うとご存知であったなら、神はサタンがヨブにそうするのを許可されなかったはずだからです。私たちの失敗、不従順、罪の当事者には神は決してなられないからです。ですから、神はヨブが決して.....神を呪わないことをご存知でした。ヨブは、あれだけのことをされても、まだ呪わないの?

主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。(ヨブ記 1：21 参照)

決して、神を呪いません。(会衆：質問し出す) メリッサ、ライブ配信中だからね。メリッサ、あなたは大変尊いです。対話式聖書の学びがあればいいのに。実際、皆さんは、私に対話式聖書の学びをしてほしくない筈。それが携挙まで続くのだから。私は集中し続けねばなりません。実際、何だったかすでに忘れてしまいました。示そうとしていた意味深なポイントだったんですけど。(会衆：謝る)

いえ、大丈夫、メリッサ。おお、ヨブ。ヨブについて話していました。はい、ひゅ〜! 危なかった。助かりましたね。ヨブがいて、つまり、サタンは、「はい、もちろんヨブはあなた(神)を呪わないでしょう。あなたがヨブをどのように祝福しているか見てください。ヨブがあなたに仕え、あなたに忠実である唯一の理由は、あなたが彼を繁栄させ、祝福されているから。少し私に彼を混乱させてください。彼は面と向かってあなたを呪うに違いありません。」(ヨブ記 1：11 参照)

神は、「よし。」青信号を出されました。ヨブが霊の領域で、自分に何が起きているのか、少しでも知っていたら、彼には警告なしですよ。ある晩、ヨブは夕食の席で、子どもたち全員が不慮の事故で亡くなったという知らせを受けます。その結末はご存知ですね。私たちはこれを味わい、、、残酷な学びでしたね。私たちと一緒に節ごとにそれを味わい、生き残って生還した方々に、私たちはTシャツを作るべきでした。「私はヨブ記を節ごとに学び、生き延びて、それを伝えるために生きた。」ヨブ記を学ぶだけでも試練でした。私たちはヨブでさえなかったのに。ヨブ記の結末で、何が起きますか? 全て元通りで、それ以上です。ヨブは害を受けない。悪魔は、ヨブに何もできなかったのは、ヨブが主のものであったからです。これが19節で登場します。

3つ目、「私は支配/制御されていない。」制御不能ではありません。私は支配されない。私は支配されていない。ヨハネがここで書く重要性をいくら強調してもしすぎません。しかし、ヨハネはこう語ります。

「私たちは知っている。」その意味は、この世とこの世の者たちを未だに支配する邪悪な者の支配から私たちは解放され、支配下から抜け出した。神の御霊によって新生した私たちは、もはやその支配下にあり

ません。私たちはもはや支配されていません。私たちはもはや征服されておらず、この世を支配する邪悪な者の罪悪感や非難に支配されることもありません。私たちはその支配下から抜け出しました。「ローマ人への手紙 6章 14節」に注目ください。これは、もちろんたくさんありますが、「人生を変える聖句」の1つです。「人生を変える」は大げさな表現ではなく、文字通りで、イエスがあなたの人生の全てであるとき、これがあなたの人生の全てを変えます。まず読ませてください。

ー ローマ 6 : 14 ー

罪があなたがたを支配することはないからです。...

いくつか他の翻訳では： もはや罪に支配されることはない。

...あなたがたは律法の下ではなく、恵みの下にあるのです。

そう、イエスがあなたのいのち/人生であるなら、イエスはあなたを律法の下から連れ出されています。あなたはもはや律法の下にはおらず、律法に支配されることもなく、律法から解放されています。今、もはや罪はあなたの主人ではありません。罪が指を鳴らすたびに、、、もはや、支配されません。罪への誘惑についての話ではありません。おお、そうだといいんですが。おお、「ローマ人への手紙 6章 14節」にこう書かれていたらどんなによかったか、罪の誘惑は、もはやあなたの主人ではない。なんてカッコいいでしょう？ もはや罪の誘惑に支配されることはない。おお、イエスよ、ありがとうございます！ イエスよ、ありがとうございます。毎日、一日に何千回も誘惑されるから。あなたもそうですね。私をそんな霊的な目で見ないでください。再度、誘惑されることは罪ではありません。しかし、これは罪の誘惑がもはや私たちを支配しないという話ではありません。繰り返しますが、イエスは、誘惑されたからです。ですから、そんなことはあり得ません。罪とは別の何かであるはずで。それは何なのか？ それは罪の誘惑ではありません。非難/罪の咎めです。私は非難/罪の咎めの支配下から抜け出しました。

**「こういうわけで、今や、(キリスト・イエスにある者が) 罪に定められることは決してありません。」
(ローマ 8 : 1)**

イエスのおかげで、私はもはや罪の意識や非難に征服されることも、支配されることも、制御されることもありません。それは、ゲームチェンジャー/一変する。ライフチェンジャー/人生を変える。どのように？理由は、私たちが罪を犯すとき、、、留意ください。私が罪を犯す「時」と言いました。私たちはもはや、その罪悪感と罪の重さに押しつぶされることはありません。その罪が完全に贖われた十字架へ行くのに長く時間を要する必要はありません。(すぐに十字架の下に行ける)

「東が西から遠く離れているように主は 私たちの背きの罪を私たちから遠く離され、もう思い出されない。」(詩篇 103:12 参照)

「たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」(イザヤ 1 : 18)

イエスが私のいのち/人生である時、どのようにこれが人生を変えるのか？ 私が罪を犯すや否や、サタンはすぐそこにて、「ほ〜！」彼は地元民だから。「ほ〜！ わお、君は、またやったのか？ とんでもない！あり得ない！ おお、これはヤバいね。これは本当にまずい。僕にはわからないね。僕が君だったら、しばらく身を潜めるね。君は神に誓わなかったか？『もう二度としない。神よ、お許しください。もう決して、、、』 そうしただろ？」「はい。」「なのにまたやったのか！ 神はもううんざりしておられる。神は、顔面蒼白になるま君に仰ったのに。」

私、どうです？ そのように聞こえますよね？ 私が罪を犯すと、私の人生ではそのように聞こえるのですが、皆さんが罪を犯すほど頻繁ではありません。私は牧師ですから。(笑)

ただ、議論のための理論的な仮定の話です。たまたま私が罪を犯すことになったと言っておきましょう。
(笑) ここであまりよろしくないですね。そこに敵がいて、「JD、わお、わお、わお！」そんな風に見ない
てください。まるで陰湿～～な、罪～～のように。－ (笑) －

陰湿な例えはせずに、交通渋滞にしましょう。それは私の... － (笑) －

私はそれを告白しましたよ。敵はすぐそこにいて言います。「わお！それは本当にひどい。」「わかっている。
。」「あなたは牧師じゃないの？ほ～！」彼は地元民だから。「牧師さん。」おお、あなたが牧師でないなら、
もっとこう聞こえますね。：「あなたは自称クリスチャンだ。」－ (笑) －

おお、皆さん、心に響きましたか？それがやって来ると、今や、私は支配され、その非難/罪の咎めの
支配下に置かれて、今、それが采配を振るっている。それはどのように見えるのか？「おお、私は神の御
言葉を読んでいない。」「よくまあ！あんなことをした後で、君は、、、教会には行かないだろうね。お
お、隣に座る人が、、、(私がこう言うとき、隣に座っている人は見ないください。)

隣に座る人が、あなたが何をしたかを知っていたら？ひ～私だったら教会にも行かない。」敵がここ
で何をしているかわかりますね？そう、これが判断基準/リトマス試験です。非難/罪の咎めは、私を主
から引き離し、罪の示しは私を主に近づけます。この判断基準/酸性テストは、それを見分けるためで、
敵があなたを非難し、支配しようとしているのか、または、主があなたに罪を示し、解放しようとしてお
られるのかどちらかです。主はあなたを赦されるから。イエスが私のいのち/人生であるとき、私はその
すべてから抜け出すのです。罪の意識と咎め/非難の下に押しつぶされることはありません。私はそんな
生き方はしません。私がそうするなら、突然、私は御言葉に入らず、祈りません。(敵)「君は祈るのか？
いや、私だったら祈らないね。」ですから、祈り、フェロシップ、、、「使徒の働き 2章42節」のテー
ブルの4本脚：

使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。(使徒の働き 2：42参照)

サタンがクリスチャンを非難の下に押しつぶし、罪の意識によって支配し、征服できれば、サタンはクリ
スチャンをその4本脚全てから捕らえたことになります。今はもう彼らは教会に行きません。今、彼らは
聖書をもう読みません。祈りどころじゃありません。聖書はあなたを罪から守られ、罪はあなたを聖書か
ら遠ざけると言われています。それ以上の真実は語られたことがない。(まさにその通り。)

そう、サタンはそれが動力源だと知っています。木曜日の夜、これについて話す予定です。エゼキエル
書、、、章、、、(会衆：29章)ありがとうございます。29章。牧師が、自分が教えるのが何章か
知っていれば助かります。力の源/原動力。そう、サタンは源を断ち切りたいのです。サタンはこれが源
だと知っている。そう、クリスチャンが祈ったら、サタンはおしまいです。「じゃあな。」サタンはもうい
ません。敗北した敵です。私たちは、私たちが彼を恐れる以上に、敵が私たちが恐れていることを知るべ
きです。しかし、敵は私たちが非難/罪の咎めと恐れの中で生活させます。敵は私たちをもっと恐れてい
ます。敵は私たちにそれを知られたくないのです。敵は、それがすべてを変えることを知っているからで
す。敵はクリスチャンを大変恐れます。クリスチャンが祈っているのを見ると、敵は逃げ出します。これ
は他の方法です：神を称える賛美曲をかける。賛美曲ならどれでもよいわけではありません。

最近難しい。イエスの御名を讃える賛美曲です。悪霊は、その名前が大嫌い。それはすべての名に
まさる名です。(ピリピ 2：9参照)「神」と好きに言えますが、悪魔はこんなように「うん、OK。いい
ぞ。神って、どの神？」しかし、イエスの名を唱え、イエスを賛美し、賛美する音楽が流れると、
敵はそこからいなくなります。通りの向こうの住所を教えてやりなさい。－ (笑) －いいえ、それはしな

いでください。幾人かは、すでに考えていますね。「それって素晴らしいアイデアだ！」—（笑）—
「どこで知ったの？ おお、私の牧師からだよ。」それが私の考えでした。

4 日目：20 節、イエスが私のいのち/人生のすべてである時、私の人生がどうなるかという、真理のうちにいることになります。ヨハネが「ギノスコ/ginosko」という言葉を使うのは、他の多くの箇所と一緒にです。私たちは知っている /ギノスコ。ギリシャ語では異なります。経験的知識で、直感的知識ではありません。つまり、私たちは直感的に何かを知ることができます。しかし、それは何かを経験的に知ることとはまったく異なります。マリアが御使いに『あなたは世の救い主を産みます。』と言われた時と同じ言葉です。マリアは処女で、こう言います。「私は男の人を知りませんのに。」マリアは同じ単語「ギノスコ/ginosko：知る」を使います。私は男性とそのような親密な経験的知識を持ったことはありません。旧約聖書では、彼らがひとつになるとき、ふたりは一体となるのである。（創世記 2：24 参照）
こう書いてあります。「彼は入り、彼女を知った。」「マタイの福音書 7 章」を読むと、、、大変ゾッとします。イエスは、終わりの時にどのようになるかを説明されます。主の御名によって悪霊を追い出し、主の御名によって多くのことを行った人々がいて、（マタイ 7:22 参照）
イエスはこう仰います。

**『わたしはおまえたちを全く知らない。（不法を行う者たち、）わたしから離れて行け。』
（マタイ 7：23）**

同じ言葉です。経験知がない。彼らは抗議します。

「私たちはあなたの御名において、これらのことをすべて行ったではありませんか。」（マタイ 7:22 参照）

それは問題ではない。わたしは、そのような経験知であなただけを親密に知らない。それが、主が使われる言葉です。主はこの言葉 知る/ginosko/know をどの文脈で使われているのか？ それは「イエスが特定の真理である」という文脈においてです。OK。「頼みますよ、牧師さん。」

つまり、「イエスが特定の道であり、イエスが特定の真理であり、イエスが特定のいのちなのです。

イエスを通してでなければ、（だれも）父のみもとにいく道はありません。」（ヨハネ 14：6 参照）

私にとってこれで何が変わるのか？ ちょっと待って。イエスが特定の真理であるなら、、、この「特定の/the」という言葉を削除し、「あなたの/your」に置き換えてみます。イエスがあなたのいのちであり、イエスがあなたの真理であり、イエスがあなたの道であるなら、すべてが変わるべきではないですか？ あなたが真理のうちにおいて、イエスがあなたのいのち/人生であり、イエスがあなたの道であるなら、それがあなたの人生を変えるはずではないですか？ それがあなたの人生に現れませんか？ それがあなたの人生の特徴ではないですか？ それがあなたの人生によって示され、実証されませんか？

おお、なかなかいい文章構成で言えましたね。少し時間をいただき、ちょっとだけ感動させてください。私が言っている真理やイエスが真理であるというのは本当ですか？ そう、さっと説明します。私たち、皆、、、驚きです。実際、悲しいのは、「エペソ人への手紙 6 章」の武具の誤引用、文脈から大きく外れてしまうことです。しかし、武具の 1 つ 1 つ、比喩的に言うと、真理の帯は、— 真理の帯 — なぜ真理の帯なのか？ 他のすべての武具は、帯に繋がっていて、帯に取り付けられていて、帯で固定されているからです。真理の帯につながる救いの胸当て。盾さえ、御霊の剣、盾、使わない時は、帯に引っ掛けました。いわば、すべてが「真理の帯」に繋がって、まとめられているのです。今、その帯を外すなら、どうあなたに作用します？ あなたの人生はどうなるのか？ 特定の真理がしっかりと固定されていないと

したら、あなたの人生のすべては、特定の真理、特定のイエス・キリストにあるなら、すべてがよく言われるように相対的になる。それがあなたの真理です。おお、それ大嫌いですが、なぜそこに行ったのかさえ、自分でもわかりませんが、これ以上は無理です。この件は、時計に救われました。残りの時間をこの最後の1つに費やしたいからです。21節、「偶像から自分を守る。」

つまり、ヨハネがこの終わり方をします。話す必要がありますね？ いいですか？ OK。必要だからです。これは、、、これは私の説教のようです。ただ唐突に終わってしまう。よし、これで終わり。おしまいです。カポノが上がってきて、皆さん起立し、「牧師さん、スムーズな締めじゃないですよ。」

つまり、締めくくりについて.....8種の色んな締めくくりではなく、1つだけにしてください。締めくくりに移行して、全てしっかり結んで、継ぎ目がなく、滑らか〜な締めくくりじゃなく、突然「OK。おしまい！」と言うと？ わ〜！ OK。わお！ それがヨハネがすることです。ヨハネはこの手紙を全て書き終えました。最後にヨハネが言うのが、「おお、偶像から自分を守りなさい。じゃあね。」ヨハネよ、パウロやペテロはどうです？ ところでヨハネさん、あなたは愛の使徒のはず。私は愛を感じません。

「偶像から自分を守りなさい。じゃあね。」?? またね 自分を守りなさい、、、「唐突じゃないですか？」はい。なぜ？ おお、実は正当な理由があって唐突なんです。

説明します。ヨハネがこれを書いたとき、グノーシス主義とグノーシス主義のイエスに対処しているのを理解してください。グノーシス主義のイエスとは誰か？ おお、イエスは肉体のある人でさえなく、霊的な特質に過ぎないというもの。それは本物のイエスの代替えのようでした。ちなみに、私たちはグノーシス主義について話してきました。グノーシス主義がこんにちも健在でないとは一瞬たりとも思わないでください。映画を観に行くだけでも、そうです。それがこんにちの映画のテーマで、筋書きです。

全てがグノーシス主義です。それについては触れません。もう話してきましたからね。テレビ番組、すべての予測プログラミング。『マトリックス』、それはグノーシス主義、私たちは設計者によって閉じ込められ、奴隷にされているという考え。ですから、今のエホバは悪であり、ルシファーは光で、善である。それがグノーシス主義です。ですから、それがヨハネが対処していることで、しかし、これが偶像崇拜になりました。この代替えが偶像となりました。それが偶像というものです。偶像……これが定義です。単純化しすぎでないのを願います。これで締めくくります。しかし、実は、木曜日の夜 言いましたが、主の御心なら、そして「私たちがまだここにいるなら」、「終わりの日のキリスト教の偶像崇拜」についての教えを予定しています。普通の疑いではありません。「エゼキエル書」はもちろん、その前の「エレミヤ書」や「イザヤ書」でも、バビロン捕囚につながるイスラエルの偶像崇拜について書かれています。私たちは偶像を、小さな像を建てたり、木彫りの小さな像を持ち、それにひれ伏し、偶像を崇拜することだと考えます。偶像崇拜から自分自身を切り離します。それは非常に大きな間違いです。偶像崇拜は健在です。

これが偶像崇拜の定義です。：「偶像とは、私の人生におけるイエス・キリストの中心性にとって代わる、巧みな代替と呼ぶべき何か、あるいは誰かである。」

それが偶像崇拜です。私の献身、私の注意を惹きつけ、私の愛情の対象で、私の時間とエネルギーの焦点である物や人です。私のいのち/人生として、私の人生の中心のイエスの正当な場所を奪い、安っぽい代用にとって替える事。それが偶像崇拜です。幾人かは私を見ていますね。それを予想します。私は見ません。あなたが私を見る方法だから。「おお、私はイエスを愛していますよ。」OK。私もです。

「私は偶像崇拜には走っていません。」私もです。でも、質問してもいいですか？ 私は自分自身にも問

います。なぜヨハネは、最初の手紙の一番最後に、これを必要だと考えたのか？ 句読点、感嘆符、絵文字を入れられるのに。このこと（偶像崇拜）が私たちの生活や人生において問題でないなら。結局のところ、イエスが私たちのいのち/人生なら、偶像はそこで何をしているのか？ 待って、待って、待って。「私は彫像は持っていません。私はそれらにひれ伏すつもりはありません。私は自分のために彫像を作りません。」ふむ。とりわけあなたが訪問で来られたなら、私は会って挨拶ができるように、この後に残ります。でも、これを言った後、私はすぐ逃げ出さねばならないでしょう。恐らく、アメリカは偶像です。私はきつともう失うものは何もないと思いますので。時々、不思議なのは、イスラエルは偶像になったのか？ 私たちはイスラエルの神を愛しています。私たちはイスラエルのユダヤ人を愛しています。しかし、イスラエルは、私の人生で、イエスにだけ値する正当な場所を取って代わったのか？

アメリカ主義はどうでしょう？ よくある疑いじゃありません。偶像崇拜について話しますが、そこにはよくある疑いがあります。私が言っているのは、巧妙なものについてです。それが巧妙な代替えと呼ぶ理由です。ですから、今や、イエス・キリストの福音の代わりに、アメリカの福音を分かち合っている。それは代替えで、偶像崇拜です。あるいは共和党の福音、あるいはフォックス・ニュースの福音。それは偶像崇拜です。私はあなたと私に投げかけた質問に、あなたの代わりに答えているだけです。私が自分の人生でそれに答えねばなりません。同じ傾向のある隣人と私は同罪です。これに乗っかりたいどんな牧師同様、これを何と呼ぶんでしたっけ？ 大変マズいのが、、、こうして私は、5分前にこの説教を終るべきだったと知ります。おお、高ぶり（高い馬）。高ぶり（高い馬）？ 皆さんも私と同じように疲れますね。私が疲れさせてますね？ 私たちは高ぶる。

「私は共和党のクリスチャンだ！」共和党のクリスチャン？（聖書のどこにある？）－（笑）－
私はここで機会均等違反者になりますから、もうメールしないでください。「私は民主党のクリスチャンだ！」それももうまくいきませんでした。「私はアメリカ人クリスチャンだ！」あなたはアメリカ人クリスチャンですか？ 私はアラブ人クリスチャンです。あなたはアラブ人クリスチャンですか？ 私はユダヤ人クリスチャンです。あなたはユダヤ人クリスチャン？ ちょっと待って。私がキリストのうちにいるとき、ユダヤ人、ギリシャ人、異邦人、アラブ人、ユダヤ人、ポルトガル人という区別はありません。私は敬意をもってそう言いました。－（笑）－

たぶん、本当にやめた方がいいでしょうね。しかし、非常に巧妙です。非常に巧妙。この島の地元文化、風習、伝統。偶像崇拜、偶像崇拜です。それがヨハネがこう締めくくる理由だと私は信じます。ヨハネが優しい締めくくりをしたとしたら..... 私にはわかりませんが、、、ただ良い挨拶をして、誰それに、

「羊皮紙を持ってきてください。愛しています。もう二度と会うことはありません。これがあなたがたへの最後の言葉です。手に鋤をかけ続け、うまく走り逃げなさい。」それらは一切ありません。

「偶像から離れなさい。いいか？」だけ。ヨハネがそれに何か付け加えるかどうか想像できますか？ それでは水を差し、迫力もパンチもなくなってしまうでしょう。ヨハネがこのような終わり方をしたことで、つまり、あなたはただ、、、まるで映画を見るときのように、もう映画は観ませんけどね？ 映画はすべてグノーシス主義だからです。でも、映画の終わりまで、彼らは未解決のままにしておきます。あなたは自分自身の結末を書き、自分の解釈みたいなもので、変更可能のまま。これはそういうことではありません。私たちがこのことを熟考し、心に刻めるように、このように残されています。わお、ヨハネよ。ヨハネはその権利がありましたよ。力強く用いられた神の人。この手紙を書いたとき、ヨハネは年を取っていました。愛するものたち 私の子どもたち

「私にとって、自分の子どもたちが真理のうちに歩んでいることを聞くこと以上の大きな喜びはありません。」(Ⅲ ヨハネ 1:4)

ヨハネは信仰の父です。クリスチャンたちはヨハネを尊敬していました。ヨハネがこの手紙を送り、この手紙の最後をこのように締めくくったとき、彼らは、「うわお!!! ヨハネが、、、ヨハネがあのように言って手紙を閉じるのは、真剣なことに違いない。」実際、原書の中には「アーメン」がないものもあります。アーメンは少し役に立ちます。しかし、こういう翻訳もあります。「偶像から遠ざかりなさい。さよなら。以上。」アーメンさえありません。言い換えれば、聖霊に私の心を調べて貰い、イエスを私の人生で心に据える正当な場所を奪っているものがないかどうか、見ていただいた方がいいかもしれません。明らかにサタンは非常に狡猾です。サタンは大変巧妙です。あなたは気づきさえせず、あなたの人生に忍び寄り、イエスがあなたの人生から取り去られ、あなたの人生から取り去られただけでなく、あなたの人生でイエスに成り替わり、主はもはや、あなたのいのち/人生ではないだけでなく、これがあなたの人生の一部になったから。実際、それがあなたの独自性/アイデンティティです。それがあなたが自分を特定する方法です。ご存知、私はクリスチャンです。私はアラブ人で、クリスチャンです。アラブ人クリスチャンではありません。私はクリスチャンです。私は牧師ですが、クリスチャンの牧師ではありません。私はクリスチャンです。私はあなたの牧師である前に、あなたの兄弟です。イエスが私のいのち/人生で、主がおられるべきところにおられるなら、私はあなたの牧師である前に、キリストにあるあなたの兄弟です。ええ、高ぶりと、決着のついた話を話してますよね。両方したと思います。カポノ... この締めくくり方です。ヨハネと同じで。ご起立ください。

「偶像から遠ざかりなさい!!!」

祈りと賛美で締めくくります。じゃあね。

天のお父様、わお、これは、、、ふう〜! 主よあなたは、2000年近く経った今の私たちのためになかったら、聖霊によってヨハネにこの文章を書かされることはなかったでしょう。現代の、こんにちの私たちの生活で、警戒せねばならないことでなかったら。ですから、主よ、あなたが私たちの人生になって頂きたい、あなたが私たちの人生であるとき、何が続くのか、今日、そのうちのいくつかを見ただけです。ですから主よ、私はただ祈ります。私が祈る時この中に自分を含み、私たちのいのち/人生と変わってくださいますように。祈りが必要な者もいるかもしれません。今一度、私たちのいのち/人生と変わってくださいますように。私たちの人生をあなたに、あなただけに捧げます。私たちの人生にまわりつく他のすべてのものは脇に置き、片付け、遠ざけ、あなたがおられるべき本来の場所にいて下さいますように。主よ、ありがとうございます。この強さに感謝します。それは必要な強さです。聖化された強さです。私たちは理解しました。ポイントがわかりました。ですから今、聖霊が、ここから引き継いでください。私たちを逃がさないでください。私たちがしてしまうのは、ここにそのまま置いて去る事だからです。私たちにそれをさせないでください。締めくくり、カポノが締めくくり、私は...私たちは礼拝を終わります。しかし、これが終わりではありません。あなただけがおできになりいつもご忠実であられるように、あなたがそれを次の段階に進めて下さいますように。イエスよ、感謝します。私たちはあなたを大変愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7